

題材デザイン FIRST STEP —中学校音楽科—

1 題材デザインは何のため？

- 学習指導要領では、資質・能力を育成するため、単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」を実現することが大切だと示されています。
- 「指導と評価の一体化」の観点から、題材の指導と評価の計画を作成することが求められています。
- 教師が生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、意図的・計画的に授業づくりを行うことができます。
- 生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができます。



2 題材をデザインする際のポイント

題材をデザインする際のポイントについて、以下の手順を例に示します。

Step 1 題材を通して育成する資質・能力を明確にし、**題材の目標**を立てます。

Step 2 題材を通して育成する資質・能力を身に付けることができるようにするために、**授業をデザイン**します。

Step 3 各時間の**学習内容**や**学習活動**を考え、各時間のねらいに沿って、適切に音楽活動を位置付けます。

Step 4 **題材の指導と評価の計画**を作成します。

題材デザインの具体

第2学年『夏の思い出』の曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌おう（A表現(1)歌唱）を例に

Step 1 題材を通して育成する資質・能力を明確にし、**題材の目標**を立てます。

- アンケートや振り返りなどの学習履歴を活用し、生徒の実態を把握します。

感受することはできるようになってきているけれど、知覚することはまだ苦手みたいだな

歌詞の内容と関わらせながら、日本語がもつ語感のリズムと旋律の美しさを味わって歌うことができるようにしたいな

少しずつ発声の方法が身に付いてきているな



- 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編（以下、学習指導要領解説）を基に、「A表現」については、ア、イ及びウの各事項を、「B鑑賞」については、ア及びイの各事項を適切に関連させ、〔共通事項〕ア及びイを位置付けます。

	(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。
知識	イ(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり
技能	ウ(ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能
〔共通事項〕ア	旋律、強弱、形式

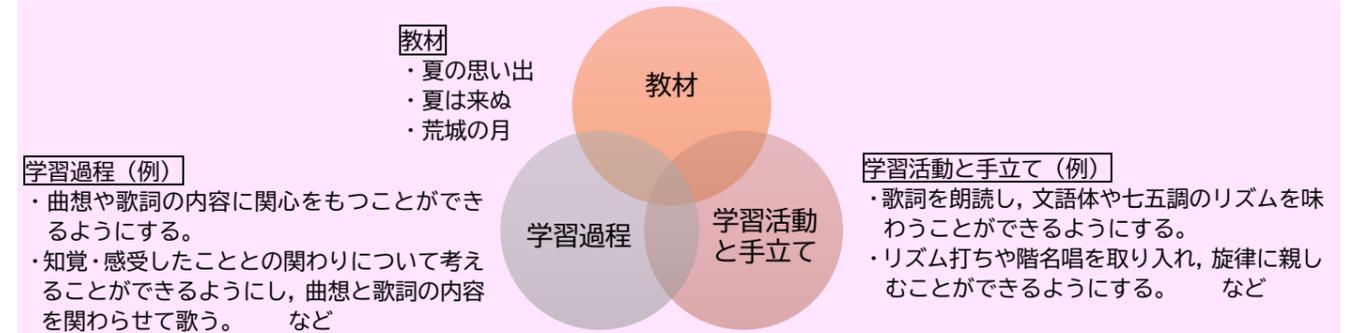
- 題材を通して育成する資質・能力を明確にし、題材の目標を設定します。

♪題材の目標

- (1) 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。
知識及び技能
- (2) 「夏の思い出」の旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
思考力、判断力、表現力等
- (3) 「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。
学びに向かう力、人間性等

Step 2 題材を通して育成する資質・能力を身に付けることができるようにするために、**授業をデザイン**します。

- 題材を通してどのように学ぶかについて、教材、学習過程、学習活動と手立ての3つの視点で整理します。



Step 3 各時間の**学習内容**や**学習活動**を考え、各時間のねらいに沿って、適切に音楽活動を位置付けます。

- 各時間のねらいに沿って、適切に音楽活動*を位置付けます。

*表現及び鑑賞の幅広い活動いわゆる音楽活動は、題材を通して育成する資質・能力を身に付けるための手段です。



POINT

小学校、中学校、高等学校における音楽の学習は、音楽活動を通して行われることが前提です。このことは、教科の目標に「表現及び幅広い活動を通して」（中学校）などのように示されています。題材をデザインするに当たって、「教師が生徒にとってよい経験になるであろう音楽活動を設定し、その活動を生徒に経験にすることができる場」とするのみではなく、「生徒が、何をどのようにして学ぶのかを考え、そのために必要な活動を設定し、生徒が自ら学んでいくことができる場」とすることがポイントです。中等教育資料（平成29年5月号）を基に作成

Step 4 **題材の指導と評価の計画**を作成します。

- 題材の評価規準を作成します。

♪題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 技 創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	思 「夏の思い出」の旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもってしている。	主 「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

□ 題材の指導と評価の計画を作成します。

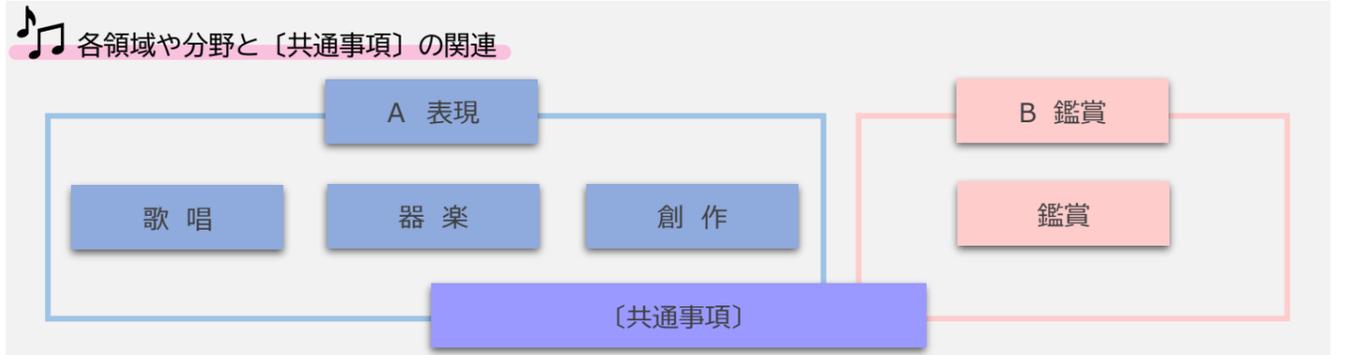
時	◆学習のねらい ○学習内容 ・学習活動	評価			評価方法
		知	思	態	
1	<p>◆「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情、曲の背景に関心をもち、旋律、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。</p> <p>○「夏の思い出」の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏の思い出」の演奏（歌詞なし）を聴いて、印象や表現されている情景などをイメージする。 ・イメージしたことについて、「夏の思い出」の音楽のどのような特徴からなのかを自由に話し合う。 <p>○本題材の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材では、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことを知る。 <p>○「夏の思い出」の歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏の思い出」の歌詞を音読したり歌詞唱したりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などをワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを基にして意見交流を行い、新たに気付いたことや感じたことなどを書き加える。 <p>○「夏の思い出」について知覚したものと感受したものと関わりについて考えるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞の内容とを関わらせて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書いたことを基に、「夏の思い出」の旋律、強弱、形式の特徴に着目して、曲想との関わりについてグループで話し合い、学級で共有する。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを意識しながら、全員で「夏の思い出」を歌う。 <p>○本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを書く。 	知			観察、ワークシート
	<p>1 単位時間ごとの評価規準を基に、観察やワークシートの記述などを材料にして、〔指導に生かす評価〕を行います。</p>				
2	<p>◆「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつとともに、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌う。</p> <p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習したことを基に、全員で「夏の思い出」を歌う。 <p>○「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うために、どのように表すかについて思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏の思い出」の3、4段目を中心に、旋律（音のつながり方、フレーズ）、強弱、形式などの特徴を生かして、どのように歌うかについて考え、ワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを基に、グループや学級で意見交流を行い、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を追求する。 <p>○「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図と、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級で歌う。 <p>○本題材の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本題材の振り返りと、「夏の思い出」のよさや我が国で長く歌われている歌曲についての考えをまとめる。 	技	思	態	観察、演奏（歌唱）、ワークシート
	<p>1 単位時間ごとの評価規準を基に、観察やワークシートの記述などを材料にして、〔記録に残す評価〕を行います。</p>				



生徒にとって学びがいのある授業づくりを行うために

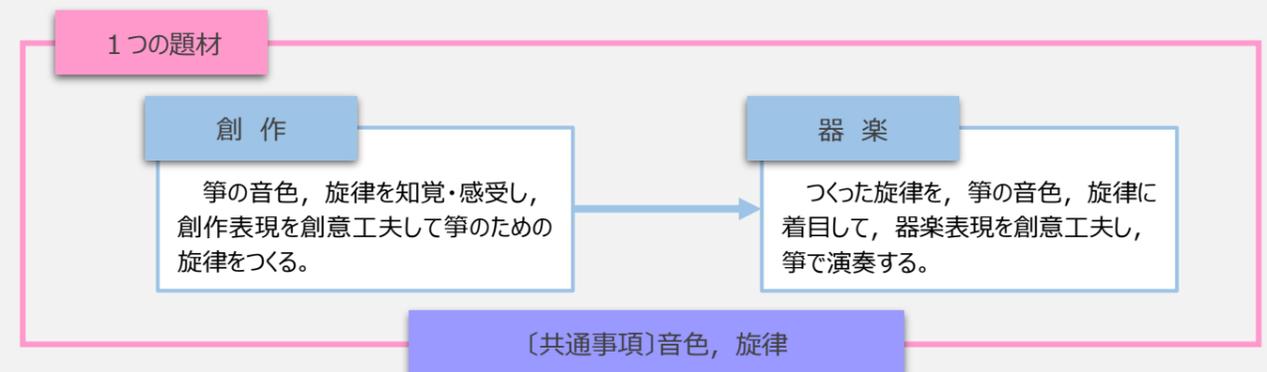
音楽科の教科の目標に「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して」とあるように、生徒にとって学びがいのある授業づくりを行うためには、歌唱、器楽、創作、鑑賞の活動をバランスよく行うことができるような計画を作成することがポイントです。

学習指導要領解説 p.95 では、指導計画の作成に当たって、歌唱、器楽、創作、鑑賞について、それぞれの特定の活動に偏ることのないように配慮すること、また、必要に応じて、〔共通事項〕を要として、歌唱、器楽、創作、鑑賞の各学習の関連を図るよう配慮することと示されています。

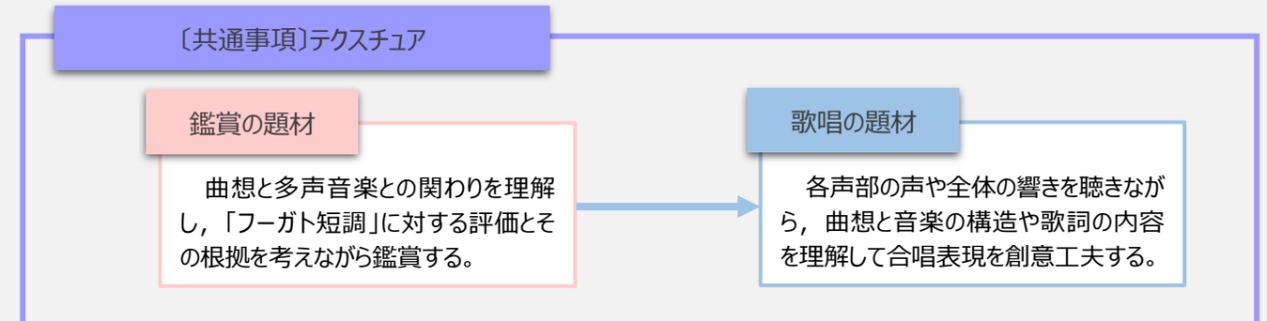


各領域や分野の関連を図ることの事例

① 題材の中で主として取り扱う〔共通事項〕を共通に設定して、複数の領域や分野の関連を図った1つの題材を構想する。



② 主として取り扱う〔共通事項〕を共通に設定して、複数の題材を関連付け、題材の配列を工夫する。



副島和久著：新学習指導要領の展開 音楽編 p.71 を基に作成



学習評価の詳細については、国立教育政策研究所『[指導と評価の一体化](#)』のための学習評価に関する参考資料や佐賀県教育センターWeb『[学習評価の進め方](#)』を御参照ください。



中学校音楽科の授業づくりについては、佐賀県教育センターWeb「令和4・5年度プロジェクト研究（中学校音楽科教育研究委員会）」を御参照ください。



学習評価 FIRST STEP —中学校音楽科—

1 学習評価は何のため？

学習評価の目的は、生徒の資質・能力を育成することです。
生徒の学習状況を適切に見取り、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことが大切です。



2 学習評価の機能

○指導に生かす評価

生徒一人一人の学習状況を把握し、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと
※生徒の学習改善や教師の指導改善のために、日々の授業の中で生徒の学習状況を絶えず評価することが大切です。毎時間生徒の学習状況を見取り、**【指導に生かす評価】**を行います。

○記録に残す評価

観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと
※毎回の授業において、**【記録に残す評価】**を行う必要はありません。生徒全員の評価を記録に残す場面を精選することが重要です。題材のまとまりの中で、評価規準に照らして、生徒の観点別学習状況を把握し、記録します。

3 学習評価の観点

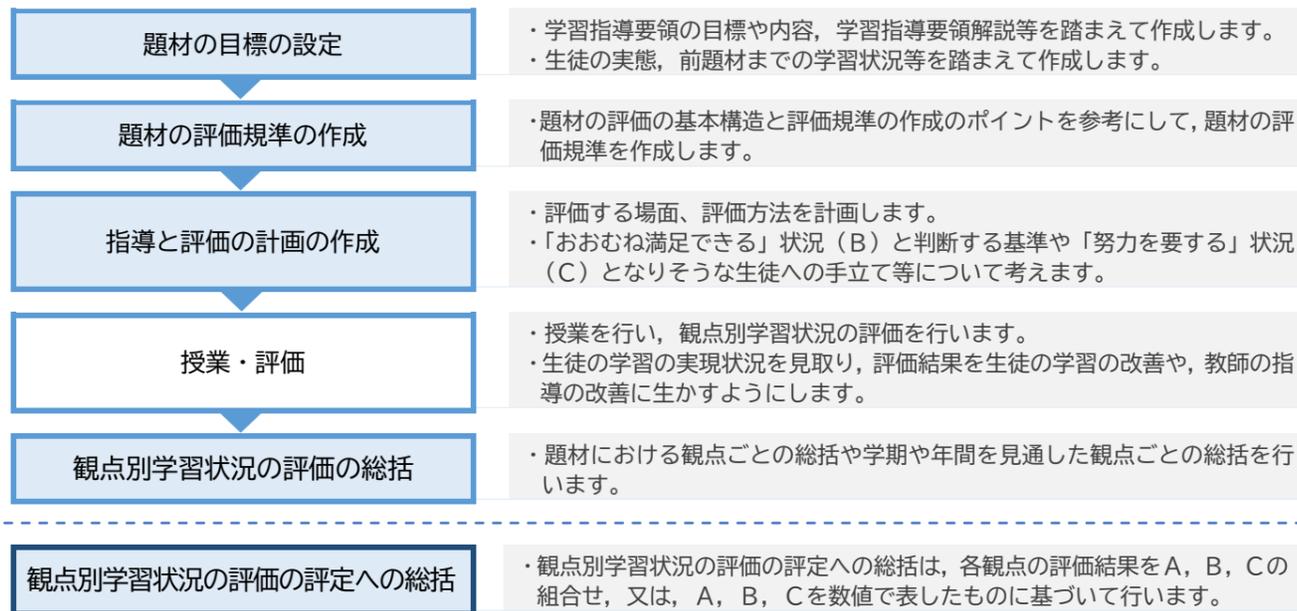
育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえ、以下の3つの観点で評価を行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。*1 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。*2 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

※ 「知識・技能」の観点の趣旨は、知識の習得に関すること*1と技能の習得に関すること*2に分けて示しています。「A表現」の題材では、評価規準の作成においても「知識」と「技能」に分けて設定することを原則とします。
なお、「B鑑賞」の題材では、*2の趣旨に対応する評価規準は設定しません。

4 学習評価の進め方

題材における観点別学習状況の評価の進め方について、基本的な流れを以下に示します。



参考：佐賀県教育センターWeb「学習評価の進め方」



学習評価の詳細については、国立教育政策研究所『**指導と評価の一体化**』のための**学習評価に関する参考資料**や佐賀県教育センターWeb「**学習評価の進め方**」を御参照ください。

学習評価の進め方の具体

第2学年『夏の思い出』の曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌おう（A表現(1)歌唱）を例に

題材の目標の設定

- (1) 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (2) 「夏の思い出」の旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
- (3) 「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。

題材の評価規準の作成

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景*3との関わりについて理解している。 技 創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	思 「夏の思い出」の旋律、強弱、形式*4を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	主 「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち*5、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

*3：事項に示している内容のうち、本題材の学習で扱わない部分については削除することができます。

*4：「音楽を形づくっている要素」の中から、本題材の学習において生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を適切に選択して記載します。

*5：文頭に、本題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要な、扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容など、生徒に興味・関心をもちたい事柄を記載します。

指導と評価の計画の作成

時	◆学習のねらい ○学習内容 ・学習活動	評価			評価方法	♪評価する際のポイントと留意点♪
		知	思	主		
1	<ul style="list-style-type: none"> ◆「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情、曲の背景に関心をもち、旋律、強弱、形式などの特徴を捉えながら、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。 ○「夏の思い出」の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、 ・「夏の思い出」の演奏（歌詞なし）を聴いて、印象や表現されている情景などをイメージする。 ・イメージしたことについて、「夏の思い出」の音楽のどのような特徴からなのかを自由に話し合う。 ○本題材の見通しをもつ。 ・本題材では、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことを知る。 ○「夏の思い出」の歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。 ・「夏の思い出」の歌詞を音読したり歌評したりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などをワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを基に意見交流を行い、新たに気付いたことや感じたことなどを書き加える。 ○「夏の思い出」について知覚したことと感受したこととの関わりについて考えると、曲想と音楽の構造や歌詞の内容とを聞かせて歌う。 ・ワークシートに書いたことを基に、「夏の思い出」の旋律、強弱、形式の特徴に着目して、曲想との関わりについてグループで話し合い、学級で共有する。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを意識しながら、全員で「夏の思い出」を歌う。 ○本時の振り返りをする。 ・ワークシートに振り返りを書く。 				観察、ワークシート	<p>授業中では、適宜【指導に生かす評価】を行います。特に「努力を要する」状況(C)と判断されそうな生徒を把握し、適切な指導や助言を行います。【記録に残す評価】を行う場面では、限りなく全員の生徒を少なくとも「おおむね満足できる」状況(B)以上であると評価できるようにすることが大切です。</p> <p>【記録に残す評価】を行う場面での評価規準は、1単位時間に平均0～2つ程度を設定し、無理なく計画的に行うことが大切です。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつとともに、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌う。 ○前時の学習を振り返る。 ・前時に学習したことを基に、全員で「夏の思い出」を歌う。 ○「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うために、どのように表すかについて思いや意図をもつ。 ・「夏の思い出」の3、4段目を中心に、旋律（音のつながり方、フレーズ）、強弱、形式などの特徴を生かして、どのように歌うかについて考え、ワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを基に、グループや学級で意見交流を行い、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を追求する。 ○「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 ・思いや意図と、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級で歌う。 ○本題材の振り返りをする。 ・ワークシートに本題材の振り返りと、「夏の思い出」のよさや我が国で長く歌われている歌曲についての考えをまとめる。 				観察、演奏（歌唱）、ワークシート	<p>観点ごとの学習状況についての評価は、題材における内容や時間のまとまりを見通しながら、それぞれの実現状況を把握できる段階で適切などして評価場面を精選し、適時・適切な場面で評価を行うことが大切です。</p> <p>生徒の発言や反応、ワークシートの記述内容の分析、行動の観察、演奏の聴取など、多様な評価方法を工夫することが必要であり、テストの結果に偏ることがないように留意します。</p>



授業モデル

中学校音楽科 第2学年

題材名 「夏の思い出」の曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌おう

(全2時間)

1 題材について

本題材は、歌唱共通教材である「夏の思い出」を教材として、曲想と音楽の構造や歌詞の内容とを関わらせながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する題材です。楽譜に示された旋律の動きと強弱との関わり、フレーズのまとまりや形式などについて理解し、生徒自らが「夏の思い出」のよさや美しさを実感しながら、その曲にふさわしい創意工夫を生かした表現で歌うことができるようにします。また、ペアやグループでの活動を通して、主体的・協働的な学習が展開できるようにします。

なお、学習指導要領との関連は、以下のとおりです。

第2学年及び第3学年 A表現(1)歌唱 ア, イ(ア), ウ(ア)

〔共通事項〕 旋律, 強弱, 形式

📖 [「題材デザイン FIRST STEP」](#)

2 題材の目標

- (1) 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (2) 「夏の思い出」の旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
- (3) □「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>思 「夏の思い出」の旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

題材の目標や評価規準の設定については、国立教育政策研究所「[『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料](#)」や佐賀県教育センターWeb「[学習評価の進め方](#)」、[「題材デザイン FIRST STEP」](#)、[「学習評価 FIRST STEP」](#)を御参照ください。



4 指導と評価の計画

*太字は、評価の場面となる学習活動を示しています。

時	◆学習のねらい ○学習内容 ・学習活動	評価			評価方法
		知	思	態	
1	<p>◆「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情に関心をもち、旋律、強弱、形式などの特徴を捉えながら、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。</p> <p>○「夏の思い出」の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏の思い出」の演奏（歌詞なし）を聴いて、印象や表現されている情景などをイメージする。 ・イメージしたことについて、「夏の思い出」の音楽のどのような特徴からなのかを自由に話し合う。 <p>○本題材の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材では、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことを知る。 <p>○「夏の思い出」の歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏の思い出」の歌詞を音読したり歌詞唱したりして、歌詞が表す情景や心情、曲の雰囲気などをワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを基にして意見交流を行い、新たに気付いたことや感じたことなどを書き加える。 <p>○「夏の思い出」について知覚したものと感受したものととの関わりについて考えるとともに、曲想と音楽の構造や歌詞の内容とを関わらせて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書いたことを基に、「夏の思い出」の旋律、強弱、形式の特徴に着目して、曲想との関わりについてグループで話し合い、学級で共有する。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを意識しながら、全員で「夏の思い出」を歌う。 <p>○本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを書く。 	知			観察、ワークシート
	2	<p>◆「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつとともに、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌う。</p> <p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習したことを基に、全員で「夏の思い出」を歌う。 <p>○「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うために、どのように表すかについて思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏の思い出」の3、4段目を中心に、旋律（音のつながり方、フレーズ）、強弱、形式などの特徴を生かして、どのように歌うかについて考え、ワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを基に、グループや学級で意見交流を行い、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を追求する。 <p>○「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図と、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級で歌う。 <p>○本題材の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本題材の振り返りと、「夏の思い出」のよさや我が国で長く歌われている歌曲についての考えをまとめる。 	技	思	態

指導と評価の計画の作成については、国立教育政策研究所『[『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料](#)』や佐賀県教育センターWeb『[学習評価の進め方](#)』、『[題材デザイン FIRST STEP](#)』、『[学習評価 FIRST STEP](#)』を御参照ください。



5 題材における指導と評価の一体化を図るために

1：「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。

〈知識〉

本題材における知識の習得においては、『夏の思い出』の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解することができるようになることをねらいとしています。

指導に当たっては、単に、「夏の思い出」の音楽の構造を知る、歌詞の意味を知る、といった学習にとどまるのではなく、〔共通事項〕の学びを支えにして、生徒が「夏の思い出」の音楽に向き合い、曲想を感じ取る中で理解を深めていくことができるようにしていきます。

♪第1時：「ワークシートに書いたことを基にして意見交流を行い、新たに気付いたことや感じたことなどを書き加える」学習活動の一場面（例）

歌詞が表している情景や曲の雰囲気などについて、どのようなことに気付いたり感じたりしましたか。

「はらかなおぜ」「やさしいかげ」の歌詞から、暑い夏ではなく穏やかな夏の情景をイメージしました。

歌詞で歌ってみても、穏やかな夏の情景や自然が美しい風景をイメージすることができました。

それは、「夏の思い出」の音楽のどの部分と関係しているのでしょうか。

---再度、「夏の思い出」の歌詞を音読したり、歌詞唱したりする---

音程の上がり下がりがないところと関係していると思います。

それは、旋律の動きのことですね。旋律について、気付くことができましたね。ほかは、どうですか。

楽譜を見たら、*mp* や *p* の強弱記号が多く使われていて、音量の変化が少ないところも関係していると思います。

強弱のことについて、楽譜を見て確認してみましょう。...

---意見交流を通して、新たに気付いたことや感じたことなどをワークシートに書き加える---

評価に当たっては、知識の評価規準〔知〕を第1時に位置付け、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについての理解の状況の評価します。その際、教科書に記載されている内容や教師が説明した内容を理解しているかなどを問うだけでは評価として十分ではありません。生徒が「夏の思い出」を聴いたり、歌ったりして、『夏の思い出』が優しい感じがするのは、*mp* や *p* の強弱記号が多く使われていて、音量の変化が少ないからだなどに気づき、実感を伴って理解していく段階において、その状況の評価するようにします。評価の方法として、生徒の発言、つぶやきの状況などを観察し、ワークシートの記述内容などから判断することが考えられます。

○「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイントと「努力を要する」状況（C）と判断されそうな生徒への働きかけの例

観点	評価規準	〈評価方法〉	
		「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント	「努力を要する」状況（C）と判断されそうな生徒への働きかけの例
知識	〔知〕	〈ワークシート〉 ・感じ取った曲想と気付いた特徴について、おおむね妥当な内容を書いているか。 ・感じ取った曲想と音楽の構造に関わる要素の表れ方、歌詞の内容などを書き、それぞれの関係性をおおむね妥当に捉え、線をつないでいるか。 ・楽譜に書き込まれた言葉や記号などから、「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情、雰囲気などが、どのような音楽の構造や歌詞の内容によって生み出されているかを捉えていることが見て取れるか。	「夏の思い出」の歌詞を音読したり、歌ったりしながら、曲想が音楽を形づくっている要素の働きによって生み出されていることに気付くことができるようにする。

2：「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。

〈思考・判断・表現〉

本題材における思考力、判断力、表現力等の育成においては、『夏の思い出』の旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものとのかわりについて考え、『夏の思い出』にふさわしい歌唱表現を創意工夫する」ことができるようにすることをねらいとしています。

指導に当たっては、「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習が、本題材における知識や技能を習得したり、これまでの学習で習得した知識や技能を生かしたりしながら行われるようにしていきます。また、生徒の思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素を踏まえるようにします。

♪第2時：『夏の思い出』の3、4段目を中心に、旋律（音のつながり方、フレーズ）、強弱、形式などの特徴を生かして、どのように歌うかについて考え、ワークシートに書く学習活動の一場面（例）

まず、「夏の思い出」の3、4段目を中心に、どのように歌うのがふさわしいのか考えてみましょう。

3、4段目も、穏やかで優しい感じで歌うのがふさわしいかな。

3段目は、水芭蕉の花が咲いている様子を伝えたいから、明るい感じで歌いたいな。

---自分の考えをワークシートに書く---

そのように歌うためには、旋律（音のつながり方、フレーズ）、強弱、形式などの特徴に着目して考えてみましょう。

3、4段目も、穏やかで優しい感じで歌うためには、強弱に着目してみよう。

3段目は、フレーズの変化が大きいから、旋律の動きや強弱の変化に着目して歌ってみよう。

---自分の考えをワークシートに書く---

それでは、ワークシートに書いた考えを基に、グループで意見交流しましょう。・・・

評価に当たっては、思考・判断・表現の評価規準（思）を第2時に位置付け、第1時から第2時までの、音楽を形づくっている要素の知覚・感受、また、知覚したものと感受したものとのかわりについて考えている状況や、思いや意図をもつ過程や結果の状況の評価します。評価の方法として、創意工夫する活動の様子を観察、ワークシートの記述内容などから判断することが考えられます。

○「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイントと「努力を要する」状況（C）と判断されそうな生徒への働きかけの例

観点	評価規準	〈評価方法〉
		「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント 「努力を要する」状況（C）と判断されそうな生徒への働きかけの例
思考・判断・表現	思	〈観察〉 「夏の思い出」にふさわしい歌唱表現を追求する場面において、どのように工夫して歌いたいかについて発言したり、歌い表そうとしていたりしているか。
		〈ワークシート〉 ・「夏の思い出」の演奏から感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容などに触れながら、どのように歌いたいかについて、自分なりの思いや意図を書いているか。 ・「夏の思い出」のよさや我が国で長く歌われている歌曲の価値や意味について、授業での学習内容を踏まえて、自分の考えを書いているか。

	生徒とともに「夏の思い出」をブレスの位置や強弱を変えて歌うなどしながら、「夏の思い出」から感じ取った雰囲気やふさわしい表現について対話し、思いや意図をもつことができるように促す。
--	---

3：創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 <技能>

本題材における技能の習得においては、「創意工夫を生かした表現で『夏の思い出』を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける」ことができるようにすることをねらいとしています。

指導に当たっては、単に「夏の思い出」の旋律の音程やリズムをおおむね正しく捉えて歌うことができる技能を身に付ける、といった学習にとどまるのではなく、自分の思いや意図などに応じて自分でコントロール（制御したり調節したり）することができる技能を身に付けていくことができるようにしていきます。その際、生徒が技能を身に付けていく段階で、発声、言葉の発音、身体の使い方などを意識することができるよう、適宜声掛けを行うようにします。

♪第2時：「思いや意図と、発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループや学級で歌う」学習活動の一場面における教師の声掛け（例）

3, 4 段目も、穏やかで優しい感じで歌うためには、強弱に着目してみよう。

mp の部分は、どのくらいの息の量が適しているか試してみましょう。そのとき、身体の使い方意識してみるとよいですよ。

「咲いている」の三連符のリズムが伝わるように、歌詞の発音に気を付けて歌いたい。

「咲いている」の歌詞の発音は、母音と子音を意識してみましょう。

評価に当たっては、技能の習得に関する評価規準 **〔技〕** を第2時に位置付け、創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な技能の習得の状況の評価します。その際、「旋律の音程やリズムを正しく捉えて歌うことができるか」などの評価のみにとどまらないよう、留意します。『夏の思い出』の強弱に着目して、穏やかで優しい感じで歌いたい」「三連符のリズムが伝わるように、歌詞の発音に気を付けて歌いたい」などの思いや意図をもって、技能を身に付けていく段階において、その状況の評価することが考えられます。評価の方法として、題材末の発表会で、その思いや意図が表れるように歌唱しているか観察することなどから判断することが考えられます。また、生徒自身も振り返りに活用することができるよう、1人1台端末などに録音・録画して、あとから見直すことができるようにすることも考えられます。

○「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイントと「努力を要する」状況（C）と判断されそうな生徒への働きかけの例

観点	評価規準	〈評価方法〉
		「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント 「努力を要する」状況（C）と判断されそうな生徒への働きかけの例
技能	〔技〕	〈演奏（歌唱）〉 創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能について学習した内容が歌唱表現に表れているか。
		生徒とともにブレスの位置を変えて歌うなど、音のつながり方やフレーズを生かして歌うために必要な息の量などに意識を向けられるようにする。

4：音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 <主体的に学習に取り組む態度>

本題材における知識及び技能の習得，思考力，判断力，表現力等の育成を通して，学びに向かう力，人間性等の涵養も目指していきます。本題材では，『夏の思い出』が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに，我が国で長く歌われている歌曲に親しむ」ことをねらいとしています。

指導に当たっては，第1時の導入において，「夏の思い出」の歌詞が表す情景や心情に関心をもつことができるようにした上で，歌唱の学習活動を通して，「夏の思い出」のよさや美しさを味わう中で，我が国で長く歌われている歌曲の価値や意味についても考えることができるようにしていきます。

♪第2時：「ワークシートに本題材の振り返りと，『夏の思い出』のよさや我が国で長く歌われている歌曲についての考えをまとめる」学習活動におけるワークシートの一部（例）

【振り返り】

○「夏の思い出」の学習を振り返って，歌詞の内容，曲想，旋律（音のつながり方，フレーズ），強弱，形式などに触れながら，学習したことについて書きましょう。

※「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の記述（例）

旋律の音のつながり方やフレーズに着目して歌って見たら，「夏の思い出」の情景を伝えるためには，歌詞の発音やブレスの位置も関係していることが分かりました。歌詞の内容から作詞者の思いを想像すると，二部形式で作曲されていることで，その思いをしっかりと伝えることができると感じました。

評価に当たっては，主体的に学習に取り組む態度の評価規準（態）を第2時に位置付け，第1時から第2時までの，本題材への学習活動への取組の状況について総括的に評価します。その際，本題材の学習内容等に関心をもつことができるようにしながら，各時間の学習活動に粘り強く取り組んでいるか，また，本題材の目標の実現に向けて自己の学習を調整しようとしながら取り組んでいるか等について継続的な把握に努め，適切な場面で総括的に評価するようにします。評価の方法として，活動の様子を観察，ワークシートの記述内容などから判断することが考えられます。観点別評価では示すことができない生徒一人一人の進歩の状況や可能性などは，個人内評価で行います。

○「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイントと「努力を要する」状況（C）と判断されそうな生徒への働きかけの例

観点	評価規準	〈評価方法〉
		「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント 「努力を要する」状況（C）と判断されそうな生徒への働きかけの例
主体的に学習に取り組む態度	態	〈観察〉 「夏の思い出」の歌詞が表す情景や味わいに関心を持ち，自分が知覚・感受したことや他者の気付きなどを基に，どのように歌うかについて考えたり，他者と共に歌い試したりしようとしている様子が，本題材の学習を通じて見て取れたか。
		〈ワークシート〉 学習全体を振り返って，自分が学んだことについて，授業での学習内容を踏まえて書いているか。
		「夏の思い出」を，言葉のまとまりとは異なる位置でブレスをして歌ったり，強弱を極端に変えて歌ったりした演奏を聴かせ，そのことによって感じる違和感などについて対話し，歌詞と旋律との関係や音楽を形づくっている要素の働きなどについて興味をもつことができるようにする。